

斑点米カメムシ類情報第2号

令和6年8月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

全体的に発生量が多い状況です イネカメムシは今後発生量が増える恐れがありますので注意しましょう

8月上旬の巡回調査における本田のすくい取り調査（47地点94ほ場）において、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が4.21頭（平年2.74頭、前年3.60頭）と、**過去10年間で最も多い結果**でした（表1）。

また、畦畔雑草のすくい取り調査（42地点83ほ場）においては、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が3.86頭（平年5.24頭、前年2.44頭）と、過去10年間と比較して平年並でした（表2）。

イネカメムシについては、病害虫発生予察注意報等の防除指導により、出穂期防除が広く実施されており発生は抑えられているものの、一部のほ場で発生が確認されています。また、大口町に設置した予察灯では、8月上旬に誘殺数が急増しました（図）。**今後、新世代虫の発生により、ほ場での発生が増加する恐れがありますので特に注意してください。**

防除対策は、7月17日発表の令和6年度病害虫発生予察注意報第5号（斑点米カメムシ類）及び8月2日発表の同注意報第6号（イネカメムシ）を参照してください。

表1 斑点米カメムシ類の8月上旬本田すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	多	0.27	0.17
クモヘリカメムシ	多	1.15	0.57
シラホシカメムシ類	並	0.07	0.07
イネカメムシ	並	0.64	0.72
カスミカメ類	やや多	1.86	0.89
ホソナガカメムシ類	やや多	0.04	0.03
ミナミアオカメムシ	並	0.18	0.30
合計	多	4.21	2.74

（平年：平成26年～令和5年の平均値）

表2 斑点米カメムシ類の8月上旬畦畔すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	多	0.73	0.41
クモヘリカメムシ	やや多	0.11	0.17
シラホシカメムシ類	やや少	0.05	0.13
イネカメムシ	やや多	0.11	0.05
カスミカメ類	やや少	2.77	4.37
ホソナガカメムシ類	並	0.00	0.10
ミナミアオカメムシ	多	0.08	0.02
合計	並	3.86	5.24

（平年：平成26年～令和5年の平均値）

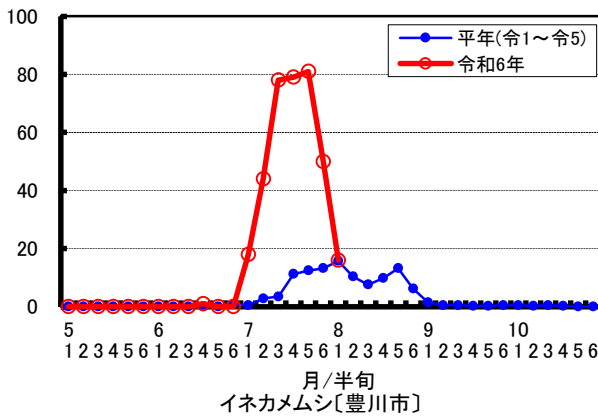
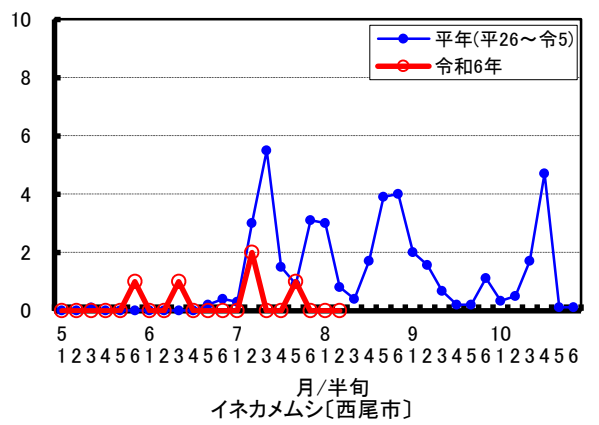
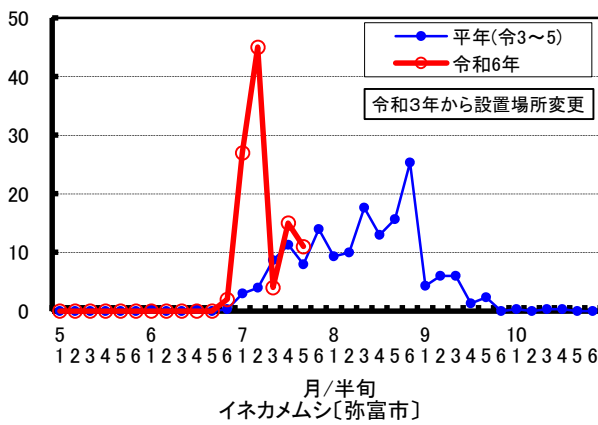
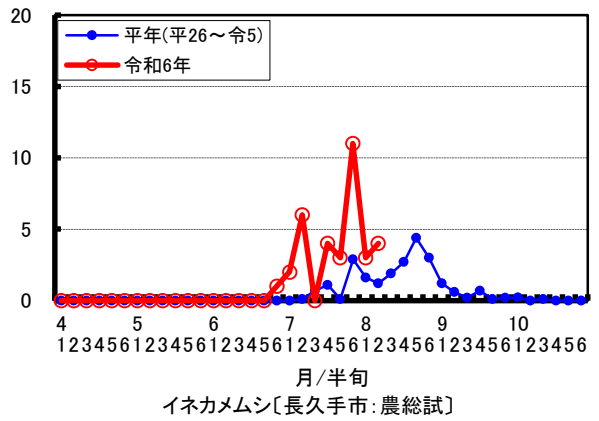
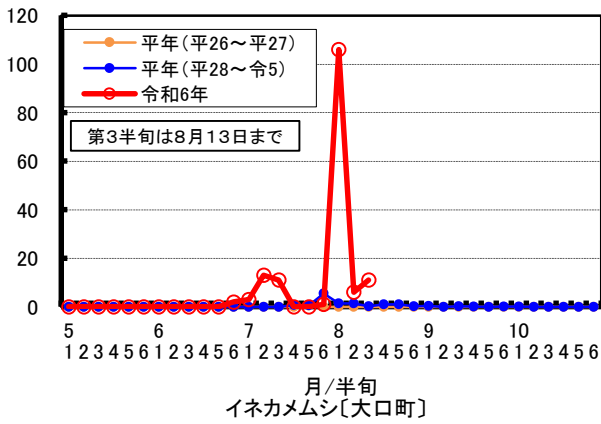


図 予察灯におけるイネカメムシの誘殺状況